

用語集

あ行

○アセットマネジメント

水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を維持するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動。

○雨水公費・汚水私費の原則

雨水排除については公費負担(租税)、汚水の排除・処理については利用者が負担する原則。

○裏負担分

補助事業のうち、事業費から国庫負担を差し引いた局負担分。

○SDGs(エスディージーズ)

「誰一人取り残さない(leave no one behind)」という理念の下、令和12年(2030年)を達成年限とする全ての国が取り組むべき「持続可能な開発目標」であり、貧困、飢餓、健康・福祉、教育、ジェンダー、気候変動、平和などに関する17のゴールが掲げられている。

○eLTAX(エルタックス)

「地方税ポータルシステム」のことで、地方税の電子申告や納付をオンラインで行うためのシステム。クレジットカードの利用も可能。

か行

○管路

水などの流体を流すための管。

○管きよ

下水等を流すための管。汚水管きよは家庭や事業所から排水される汚水を終末処理場まで導くための施設。雨水管きよは道路等の雨水を近くの河川等に流すための施設。

○基幹管路

口径Φ300mm以上の配水管。(配水本管ともいう)

○企業債

建設、改良等に要する資金に充てる地方債。

○行政区域内人口

住民基本台帳に記載されている人口。

○給水人口

給水区域に居住し、水道により給水を受けている人口。

○業務指標

事業体が行っている業務を定量化し、定義された算定式により評価するもの。PI(Performance Indicator)。

○繰出基準

一般会計が行う繰出金(負担金)の基本的な考え方。

○基準内繰入金

基準内繰入金は、繰出基準に沿った繰入金。

○基準外繰入金

基準内繰入金以外の経費を対象とした繰入金。

○繰越工事資金

前年度以前において既に受け入れた補助金などで、未だ財源として使用しなかったもの。

○下水道ストックマネジメント

持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。

○減価償却費

時間の経過によって低下する固定資産(施設・設備等)の経済的価値の減少(減価)を会計年度ごとに見積もって費用として計上するもの。現金支出を伴わない費用。

○減債積立金

企業債の償還に充てる積立金。

○建設改良積立金

建設改良工事に充てる積立金。

○公営企業

地方公共団体が公共の福祉を目的として経営する企業。

○公共下水道事業

市街地の下水を排除する下水道で、市町村が建設し、管理。

○公的資金補償金免除繰上償還

任意の繰上償還の場合に必要な補償金を免除した繰上償還。

○固定資産除却費

固定資産を廃棄するときに帳簿価額を除くこと。現金支出を伴わない費用。

き行

○債権

国や政府・地方公共団体などが、資金を投資家などから借り入れるために発行する有価証券。

○資本的収支

将来の経営活動に備えて行う施設等の建設改良及び企業債に関する収入及び支出。

○資本勘定職員

建設改良に従事するため、給与が資本的支出に計上される職員。

○収益的収支

企業活動に伴い、年度内に発生するすべての収益とそれに対応するすべての費用。

○受水費

沖縄県企業局から供給を受ける水道水に要する費用。

○純利益

一事業年度に得られる利益のこと。総収益(営業収益+営業外収益+特別利益)から総費用(営業費用+営業外費用+特別損失)を差し引いた純粋な利益。

○消費税資本的収支調整額

資本的支出にかかる消費税額から、資本的収入に係る消費税額を差し引きした相当額。

○処理区域内人口

公共下水道が使える区域に住んでいる人口。

○水洗化人口

処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口。

○接続率

下水道整備済み区域内人口(利用可能人口)のうち、下水道に接続している人口の割合。

○損益勘定職員

営業活動に従事するため、給与が収益的支出に計上される職員。

○損益勘定留保資金

減価償却費など、現金の支出を伴わない企業内部に留保される資金。

○損益計算書

一事業年度における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益と、これに対応するすべての費用を記載し、純損益とその発生の由来を表示した報告書。

た行

○貸借対照表

企業の財政状態を明らかにするため、一定の時点において企業の保有する資産、負債及び資本を総括的に表示した報告書。

○DX

デジタル(Digital)と変革を意味するトランسفォーメーション(Transformation)を掛け合わせた言葉で、デジタル化により様々なモノやサービスが効率化され、従来実現されなかった新たなサービスや価値を創出することで、社会、産業及び生活の在り方を確変すること。

○ダウンサイジング

施設の性能や機能を保ったまま規模を縮小すること。

○長期前受金戻入

固定資産取得の財源となった補助金などについて、減価償却に見合った額を収益化した会計処理上の収益。

○動力費

ポンプ場の運転に必要な電力料。

は行

○OPPP/PFI手法

PPPとは、パブリック・プライベート・パートナーシップ(Public Private Partnership)の略称で、公共施設等の設計・建設・維持管理・運営等を、行政と民間が連携・分担して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、資金の効率的な活用を図ろうとするもの。

PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)は、「PFI法」に則り、民間の資金・経営能力及び技術的能力を活用して、公共施設等の設計・建設・維持管理・運営等を、効率的かつ効果的に実施し、市民サービスの向上やトータルコストの削減を図る事業手法。

○普及率

行政区域内人口のなかで下水道が利用可能な人口比率。

○法定耐用年数

固定資産の推定使用年数。

○補てん財源

資本的収支の不足額を埋めるために必要な財源。

ま行

○マンホールポンプ

マンホール内に設置している小規模汚水中継ポンプ設備。

○マンホールトイレシステム

耐震化された下水管路のマンホールの上に簡易的な囲いを設置して、災害時の仮設トイレとして利用できるもの。

ら行

○ライフサイクルコスト

施設の建設から解体までの間に発生する費用の合計。

○流域関連公共下水道

終末処理場を有せず流域下水道に接続している公共下水道。

○流域下水道

2つ以上の市町村の区域にわたる広域的な下水道で、流域内の各市町村から発生する汚水を効率的に集めて終末処理する下水道のこと。

○流域下水道維持管理負担金

都道府県が建設、維持管理を行う流域下水道に対し、関連市町村が費用の一部を負担するもの。